

## 見た目、味に自信あり

芦高2年生が  
高校生力フェ

10月5日道の駅芦別

【芦別】芦別高校の2年生10人が考案したフードとスイーツ、ドリンクを販売する「高校生力フェ」が、10月5日午前11時から道の駅スタープラザ芦別特設会場で行われる。

主催は、まちの活性化を目指す芦別市地方創生塾。3時間ほどでメニューが完売するなど好評のカフェで、これまで売上金を市に寄付するなどの活動も実践している。

今回も10人の高校生がフード・スイーツ・ドリンクの3班に分かれ、それぞれに意見を出し合ってメニューを考案した。今年のフードは麺の上にオムレツをのせた「オム焼きそば」。スイーツは、アイスクリームをのせて



完成する「ベビーカー」。ドリンクは、「トロピカルジュースとココア」の販売を決めた。料金はオム焼きそばが1パック500円で50食分を予定。ベビーカーは6個入りで600円。

18日にはカフェ本番を前に、あしべつ宿泊交流センターで「通学合宿」に参加していた市内の小学生にオム焼きそばとベビーカーを試食として提供。「おいしい」との声が上がり、手応えを感じていた。

フード担当の村上真桜さんと、スイーツ担当の佐々木安里さんは「見た目も味にも自信があります。とつても美味しいので当日の会場に足を運んでくださ」と来場を呼びかけている＝写真＝。

【沢田忠良】

規則正しい習慣身に付けて

## 小学生が共同生活

芦別、上芦別の児童19人  
通学合宿で交流体験



【芦別】異年齢の小1学生が共同生活を通して、規則正しい生活習慣と学習習慣を身に付け、生きる力を育てることを目的とした「あしべつ通学合宿」が、17日から20日(3泊4日)まで行われた。

市教育委員会主催、市青少年育成連絡協議会の共催で行われた通学合宿。今年は、芦別小と上芦別小の4年生から6年生までの男女児童19人が参加。上芦別町のあしべつ宿泊交流センターに宿泊し、学習を兼ねた4日間の共同生活を体験。学校までは芦別小の児童がスクールバス、上芦別小児童は徒歩で登下校した。

2日目の18日には、10月5日に高校生力フェの開催を予定する芦別高校の生徒(全員2年生)の協力によりカフェで販売するオム焼きそばと、デザート

のベビーカーが児童たちの夕食に提供された＝写真＝。19日には市女性大学の受講生らの協力を得て、焼肉で夕食を共にした。また、合宿最終日の20日には、児童たちがカレーライスを作り、保護者と一緒に夕食を楽しんだ。

共同生活の中では学習のほか、保護者にプレゼントする「飛び出すメッセージカード」作りや夜の散歩「ナイトウォーク」などの体験活動も楽しんだ。参加した芦別小4年生の松井結風(ゆうか)さんは「みんなできているなことができて楽しかった。上芦別小の友達もできてよかった。芦別高校の高校生が晩ご飯に作ってくれたオム焼きそばとベビーカーが、おかわりしたいくらい美味しかった」と笑顔で話していた。【沢田忠良】

た。